

シニア世代合唱団のオンラインへの挑戦 佐藤 拓〔合唱指揮者〕

はじめまして。東京でアンサンブル歌手、合唱指揮者をしております佐藤拓と申します。

合唱指揮者として数団体の指導に当たっていますが、3月からすべての合唱団の練習が中止になっている、というのは多くの同業の皆様と同様です。特に長年指導している二つの合唱団は年齢層が高めの、いわゆる「シニア世代」の合唱団で、この世代の方々から歌う喜び、人と声を合わせる楽しさが奪われてしまったことは、とても悲しいことです。

歌うことで長生きできる、と言ってきたのに、今度は歌いに出かけることで感染リスクが高まる、というとんでもない大逆転が起きてしまいました。

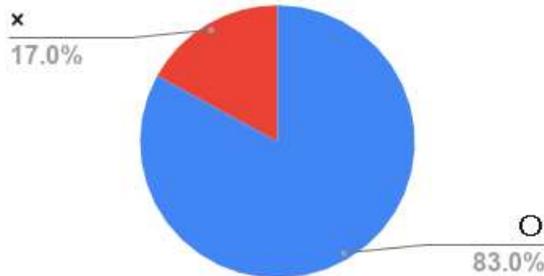
【インターネット環境のアンケート調査を行う】

すでに広まりつつあるオンラインでの合唱練習について、これらの合唱団でも試し打ちできないかと考え、まずは団員のインターネット環境を把握したいと思い5月頭に一斉アンケートを行いました。アンケートは以下のようなものです。

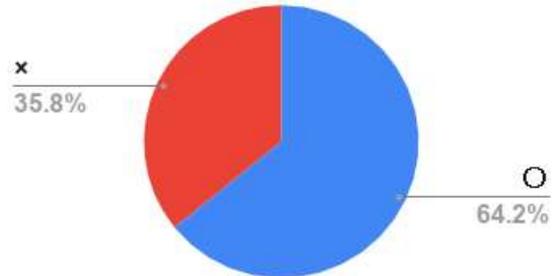
1. スマホを持っていますか？	2. LINEを使っていますか？
3. PCはインターネットにつながっていますか？	4. Zoomなどのオンライン会議ツールを使ったことがありますか？
5. 身近にパソコンやネットに詳しい人はいますか？	6. YouTubeを視聴することはできますか？

52名から回答をいただくことができ結果は以下のようになりました。

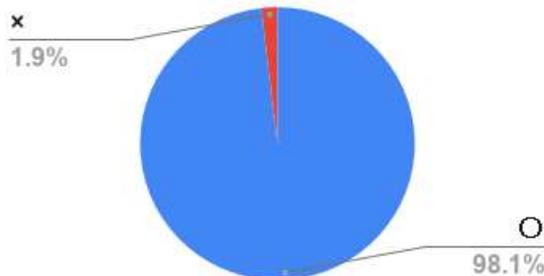
1.スマホを持っていますか？



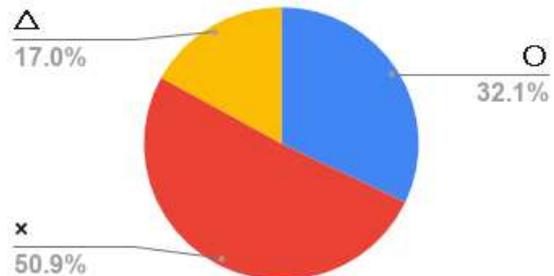
2.LINEを使っていますか？



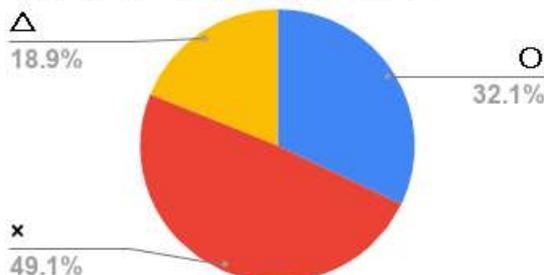
3.PCはネットにつながっていますか？



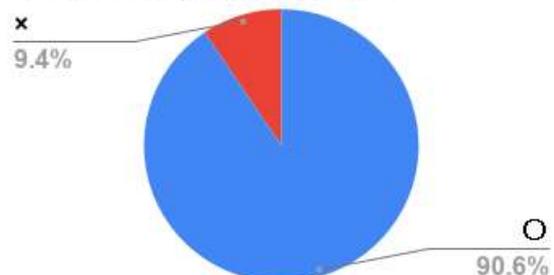
4.zoom等を使用した経験はありますか？



5.身近にネットに詳しい人はいますか？



6.YouTubeは視聴できましたか？



各合唱団の詳しい内訳や経緯については私のブログにまとめてありますので、ぜひご覧ください。

<https://contakus.com/choir/2020/05/post-291/>

【アンケート結果からわかること】

実際にアンケートをとってみてはびっくりしたのが、スマホの普及率が意外に高いこと、また PC 保有率とネットへの接続率はほぼ 100%に近いことでした。つまりシニア世代でもハード面では若者とそうかけ離れてはいない、ということです。

この統計で特徴的なのが、4の「Zoom 等の使用経験」と5の「身近に PC に詳しい人がいるか」のグラフがほぼ同一の形となっていることです。個別の状況は異なりますが、ざっくりいうと、身近に詳しく教えてくれる人がいないとオンラインには手を出しにくい、という傾向が読み取れます。

なんとなくわかっていようだった団員の状況について、改めてアンケートで統計を取ると意外な事実が明瞭になったり、問題点が浮き彫りになったりしました。これは非常に重要な気づきでした。

【オンラインへの挑戦】

上記の結果を踏まえ、実際に Zoom で集まることはある程度可能と判断し、練習予定だった日時にオンライン懇親会（飲み会）を開催することとしました。

★混声合唱団 A のケース

これまで 2 回のミーティングを開催。Zoom の導入に不安があった女声メンバー 3 人(80 代前半！)とは私が電話でサポートし、手順をひとつずつ伝えることで無事ソフトをインストールすることができました。2 回目のミーティングでは簡単な体操と声を大きく出さなくてもできる発声練習を行い、少しでも声を出す習慣をつけるように指導しました。

今後もオンラインでのミーティングは継続することし、まだ参加できていない数名へのフォローをすること、またリアルでの練習が再開できた場合でも、Zoom での同時配信で在宅でも練習に参加できるようにすることが提案されました。

★男声合唱団 B のケース

すでに 3 回のミーティングを開催。「飲み会」という体で呼びかけると集まりがよくなるのはリアル世界と一緒(笑)。3 回目では飲みの前に体操と発声、ドイツ語の発音指導を 40 分ほど行い、いつもの乾杯ソングで乾杯。こちらは 4 割近い団員(70 代後半～80 代)がまだ Zoom に参加できておらず、オンライン練習をするとしても足並みがそろわない、ということが最大の課題です。

未参加メンバーをリストアップし、どのような障壁があるのかを丁寧にヒアリングしていく必要があると感じています。

【アンケートへのご協力をお願い】

私自身、このようなアンケートを合唱団員に取ったのは初めての経験ですが、非常に多くの示唆と道筋を与えてくれました。もし同じような年齢層の合唱団で、今の状況で何をしてもいいかわからない、という場合は、まずこういった簡単な状況調査をするだけでも何かが見えてくるかもしれません。

私自身もより多くの合唱団、たくさんの地域のシニア世代の方々の状況を知りたいと思いますし、そのマステータから次の一步を模索できるのではないかと考えています。

そこで、下記サイトにアンケートフォームを作成いたしました。

<https://forms.gle/qirrx4xXocsAbtbf7>

合唱団に参加している 60 歳以上の方であればどなたでも回答いただけます。アンケートは匿名で、いただいた情報は統計のみに使用し、個人情報等は一切いただきません。

そもそもインターネット環境がないとこのアンケートに到達できない、というジレンマもありますが、もし合唱団単位でご協力いただけたところをございましたら、印刷して配布できるフォーマット(PDF ファイル)もご用意いたします。ぜひ多くの方にお知らせくださいますと幸いです。

アンケートに関するご意見、不明な点等ございましたら私までメールでご連絡ください。

contakus0907@gmail.com

【著者プロフィール】 佐藤 拓

早稲田大学第一文学部卒業。
在学中はグリークラブ学生指揮者を務める。卒業後イタリアに渡り Maria G.Munari 女史のもとで声楽を学ぶ。

World Youth Choir 元日本代表。
アンサンブル歌手、合唱指揮者として活動しながら、日本や世界の民謡・民俗歌唱の実践と研究にも取り組んでいる。

Vocal ensemble 歌譜喜、The Cygnus Vocal Octet、Salicus Kammerchor、Japan Chamber Choir 等のメンバー。東京稲門グリークラブ、日本ラトビア音楽協会合唱団「ガイスマ」、合唱団 Baltu、東京ユヴェントス・フィルハーモニー合唱団指揮者。常民一座ビッキンダーズ座長、特殊発声合唱団コエダイ r、合唱団 (Tenores de Tokyo) トレーナー。

声楽を捻金正雄、大島博、森一夫、古楽を花井哲郎、特殊発声を徳久ウィリアムの各氏に師事。



公式ウェブサイト <https://contakus.com/>